

平成23年度東北総合体育大会山岳競技ブロック会議
日本山岳協会競技委員会ブロック別研修会報告

報告者 清 野 孝
佐々木 義博

1. 日 時 平成23年11月26日(土)から27日(日)
2. 場 所 秋田県秋田市山王『秋田中央公民館』会議室
3. 出席者 日本山岳協会 高山常務理事 競技委員長・佐原競技委員
青森県 服部会長・川端理事長
岩手県 高橋会長・武田理事長・小山事務局長・佐藤指導部長
宮城県 浜田会長・吉田副会長・斉藤理事長・清野事務局長
福島県 尾形会長・三森副会長
秋田県 佐々木会長・斉藤副会長・佐藤理事長 他33名出席

4. 内 容

- 1) 開会式 佐藤理事長の進行で開会
- 2) 主催者 佐々木秋田岳連会長の挨拶、日山協 高山常務理事の挨拶
- 3) 東北総合体育大会山岳競技ブロック会議
- 4) 競技運営員認定研修は会場を別にして開催

【東北総合体育大会山岳競技ブロック会議の内容】

- (1) 日本山岳協会理事会報告
東北地区選出理事(青森県、服部・福島県、尾形理事)
・平成23年度上期事業・予算の経過報告
・公益法人移行にかかる日山協の定款、細則、規程の審議状況の報告
以上の採用については登山月報にて掲載済み。
- (2) 第38回東北総合体育大会山岳競技会実施報告
宮城岳連浜田会長から岩手県で開催されたことについてお礼と感謝の挨拶を受け、斉藤理事長から前年宮城開催を公開していたが震災の影響で会場や日程の変更、競技開催までの経過について詳細に説明があった。
- (3) 第39回東北総合体育大会山岳競技会概要説明
秋田岳連佐々木会長から資料により説明
 - 1) 開催期日 平成24年7月27日(金)から29日(日)
 - 2) 会場 秋田市
受付・開始式 秋田市県立スポーツ科学センター
リード・秋田市八橋運動公園
ボルダー・秋田市県立スポーツ科学センタールーム
表彰式・同上体育館
種目・種別 成年女子・少年男女 予選大会のみ実施
その他実施内容は今年度開催要綱に準じる。(詳細は未定)
- (4) 監督、審判員、運営委員等にかかる競技力向上研修
高山競技委員長から今年開催された第66回国体山口大会の実施状況を、映像に編集した内容をプロジェクターに映し研修を受けた。
(尚・この映像資料は会場で参加者の希望により各県に有料で配布されることとなり後日メモリーカードで送付してもらうこととした。)

【国体山岳競技の今後について】

現在国体開催が決まっているのが、24年岐阜県、25年東京都、26年長崎県、27年和歌山県、28年岩手県、29年愛媛県、30年福井県までである。国体競技種目見直しが行われており、一応30年までは山岳競技は毎年開催の決定がなされているが、明年1月から現在行われている34種目見直しヒヤリングが行われ、その結果が発表されることとなっている。山岳競技は現在33番目の後ろから2番目となっており後ろには、34番目のトライアスロン、空手、野球、ゴルフ、相撲、など競技人口の多い種目が目白押しで、31年以降は隔年開催種目になる可能性が大きいといわれている。

【第2回全国高等学校選抜クライミング選手権大会について】

昨年は全国高等学校体育連盟が主催団体とはなっていない形で開催され、全国から33県が参加して開催された。この実績を受け今年から全国高体連が主催団体となり、選抜で行われるようになったので、是非全国から参加をお願いしたく、特に東北や中国など地方からお願いしたい旨話があった。

(5) その他

尾形福島岳連会長から、今年の山口国体での大会成績の結果を踏まえ東北全体のレベル向上を必要とすることにかんがみ、審判員や指導員の養成を必要とする。東北全体でこのことを特に高体連を主体に養成してはどうかとの提案があり、岩手県指導部長から来年9月日山協指導委員会の協力を経て9月中旬2週続けて開催する予定なので参加して欲しい旨意見があった。（クライミング指導員専門研修となる）

翌日27日には、昨日の日本山岳協会の公益法人移行にかかる定款、規程などに関する協議がなされ、特に各県に関する内容では、現在日山協理事の選手についてであるが、2年交代制で送り出すのを固定化する(4から6年など)意見などが出た。更に新定款や規則では、特に加盟団体規則(案)8条では地域連合会が記載されている。東北ブロックはこれをどうするか意見集約してから日山協理事をどうするか議論しなければならないことにまとめ、来年1月福島県を会場に各県による集中協議を開催することで意見の一致をみた。

会議の内容概要は以上の通りでしたが、閉会式で東北体育協会が25年福島県と26年山形県開催の順番を入れ替えたとの話があった。